

## 令和3年度 英語学習実施状況について

金沢市立医王山小学校

## ①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和4年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	75.0	0.0	0.0	25.0	0
問2	英語の勉強は大切だ。	100.0	0.0	0.0	0.0	0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に 役立っている。	50.0	25.0	25.0	0.0	0
問4	英語の授業の内容がわかる。	75.0	25.0	0.0	0.0	0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答える ことができる。	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語 や英文を書き写すことができる。	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0

## ②指導改善の具体策(令和4年2月実施「英語教育に関する報告書」より)

アンケート全体を見ると、アルファベットを書くことに関して肯定的評価(そう思う、どちらかというそう思う)ポイントが高く、書くことの抵抗感はないようだ。引き続き、英語の楽しさに触れながらアルファベットを覚えられるよう配慮していきたい。

また、授業内容の理解度も高く、英語で答えることも肯定的数値が高いことから学習に関する内容の理解度が高いことがうかがえる。

課題として、「ショートタイムの勉強が役立っている。」という設問に対して、「どちらかと言えばそう思わない」と回答した児童がいることから、ショートタイムで学習したことが授業で役立っているという実感が伴うよう、今後も工夫を凝らしていきたい。

## ③学校関係者評価

・「英語の勉強は大切だ」「英語で先生や友達に質問することができる」「教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる」の設問では、肯定的回答が100%であった。この結果から、子どもたちは学習することの大切さを理解していることが分かる。今後も子どもたちが学びを大切に思っている気持ちを大事にして授業に臨んでほしい。

・「英語の勉強が好きだ」については、「そう思わない」と回答した児童が25%であった。英語の勉強は大切である。と思っている児童が多い反面、英語の授業の難しさや、表現の仕方を苦手と感じている児童もいるようだ。引き続き、児童が楽しく学習に参加できるよう進めていきたい。

・「ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。」の設問に対して25%の児童が「どちらかというそう思わない」と回答した。本来、ショートタイムは、次の学習につながる大切な時間と聞いている。子どもたちが、ショートタイムを行うことで、次の学習につながり達成感を味わうことで、「やっぱり大切！」と思えるように工夫を重ねていきたい。